

KRIPTON Sound Producer 渡邊勝選曲による

カメラータ・トウキョウ Special Collection 名演奏家シリーズ

KRIPTON の Sound Producer 渡邊勝が、KRIPTON スピーカーでお勧めする CD を 3 枚選出。
シングルワイヤリング接続とバイワイヤリング接続による試聴感想です。

【シングルワイヤリング接続とバイワイヤリング接続とは】



■シングルワイヤリング接続（2線式 通常のスピーカーケーブル）

付属ジャンパー線を使用し、KRIPTON の標準はウーハー側に接続します。

ツイーター側への接続や、たすき掛け（「+」ツイーター、「-」ウーハーまたは「-」ツイーター、「+」ウーハー）接続もあります。



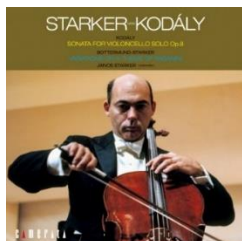
■バイワイヤリング接続（バイアンプ接続/4線式 HIGH、LOW 端子各々にスピーカーケーブル）

KRIPTON のバイワイヤリングケーブル SC-HR2000 または SC-HR2020 を使用した場合、ツイーターは「-」白と「+」緑、ウーハーは「-」黒と「+」赤にして、ジャンパー線は外します。

【バイワイヤリング接続にすることによる効果】

ウーハーからの逆起電力がツイーターに加わり、ツイーターの信号に乗ってモジュレーションを起こし、高域の透明感と S/N 感を損なってヌケが悪くなることを防ぎます。

<CD - 1> コダーイ：無伴奏チェロ・ソナタ 他／ヤーノシュ・シュタルケル



* チェロの巨匠ヤーノシュ・シュタルケルが作品にふさわしい音を追求し、1970 年代にリリースした名盤シュタルケルがスターへと登りつめるきっかけとなった、コダーイの無伴奏チェロ・ソナタ。本 CD は、同曲の様々な名盤を遺した彼が初めて挑んだステレオ録音盤で、それまでは一部をカットして演奏していた第 2 楽章を完全収録しています。カップリングはボタムント／シュタルケル編曲による『パガニーニの主題』による変奏曲。LP では未収録だった同曲の未発表テイクも収録されています。

■曲目：ボタムント＝シュタルケル：パガニーニの主題による変奏曲（LP 未収録テイク付き）

コダーイ：無伴奏チェロ・ソナタ 作品 8

■演奏：ヤーノシュ・シュタルケル（チェロ）

■録音：1970 年 12 月／東京 [品番：CMCD-20201]

渡邊勝試聴記

アナログレコード（モノラル盤）では「松ヤニの飛び散る音が聴こえる」とまで言われ、オーディオマニアの間で有名になりました。このディスクは本人 2 度目の来日時、20 年ぶりに日本ビクターで再録されたものです。（プロデューサーノート 井阪 紘 参照）

○シングルワイヤリング接続による印象

* 演奏の凄さはもちろん、チェロの中低音域の迫力を余すことなく、また弦一音一音が解像度高く再生します。

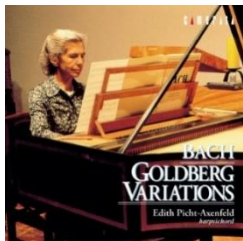
○バイワイヤリング接続による印象

* 弦一音一音の解像度が更に上がり、正にそこで演奏しているように聴こえます。

* 中低音域が豊かになり、更に迫力が増します。

* 細かい音が再生され、帯域が広がりダイナミック感が増します。

<CD -2> バッハ：ゴルトベルク変奏曲／エディット・ピヒト＝アクセンフェルト



＊世界的鍵盤楽器奏者ピヒト＝アクセンフェルトが到達した比類なき高み

2001年、87歳で他界した偉大なピアノ奏者・チェンバロ奏者であり、教育者としても20世紀の音楽界に大きな足跡を遺したエディット・ピヒト＝アクセンフェルト。バッハの譜面のすみずみまで熟知したエキスパートである彼女が高度な技術でエレガントに奏でる比類のない音色は、どこまでも暖かく聴くものをやさしく包み込みます。数多くの演奏家たちからも敬意と称賛を集めた演奏は必聴です。

- 曲目：J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲 ト長調 BWV988、イタリア協奏曲 BWV971、半音階的幻想曲とフーガ ニ短調 BWV903
- 演奏：エディット・ピヒト＝アクセンフェルト（チェンバロ）
- 録音：1983年9月／東京 [品番：CMCD-15122～3]

渡邊勝試聴記

○シングルワイヤリング接続による印象

＊中高域の優れた再生能力がチェンバロの立ち上がりや響きを美しく表現し、奏者の見事な奏法を余すことなく再生します。

○バイワイヤリング接続による印象

＊チェンバロの音がより広がり、高域の伸びと分解能がさらに上がります。

＊音域が広がりチェンバロがそこにあるかのような実在感が増します。

<CD -3> ヴィヴァルディ：四季／フランチェスキーニ、ブリツィ、イ・ソリスティ・ディ・ペルージャ



＊最高の録音技術で挑んだ名曲「四季」の新たな演奏！ バロック録音の新時代が今、到来

鬼オクラウディオ・ブリツィとパオロ・フランチェスキーニ率いるイタリアの名アンサンブル、イ・ソリスティ・ディ・ペルージャが新たな解釈で挑んだヴィヴァルディの名曲「四季」。2013年の発売以来、オーディオ雑誌や各メディアで絶賛され、話題となったアルバムです。さまざまな音の仕掛けも楽しい画期的な名演を、名録音でお楽しみください。

- 曲目：ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集「四季」第1番ホ長調作品 8-1 RV269「春」、第2番ト短調作品 8-2 RV315「夏」、第3番ヘ長調作品 8-3 RV293「秋」、第4番ニ短調作品 8-4 RV297「冬」
- 演奏：パオロ・フランチェスキーニ（ヴァイオリン）クラウディオ・ブリツィ（クラヴィオルガン／リアリゼーション）リンダ・ディ・カルロ（オルガン／チェンバロ）イ・ソリスティ・ディ・ペルージャ
- 録音：2012年10月／イタリア [品番：CMCD-28280]

渡邊勝試聴記

○シングルワイヤリング接続による印象

＊華やかなヴァイオリンの春から冬の冷たいヴァイオリンの響き、そしてオルガンの低域からヴァイオリンの豊かで繊細な響きと広がり、クラヴィオルガンの立ち上がりや高域の伸びなどがハーモニーとなり、美しく音楽を奏でます。

○バイワイヤリング接続による印象

＊全体の音場が広がり高域の細やかな響きが増し、さらに奥行き感が出て正にその場にいるかのような実在感を再生します。

＊低域の伸びと豊かさが増して、よりダイナミックに再生します。